

再評価結果（令和5年度事業継続箇所）

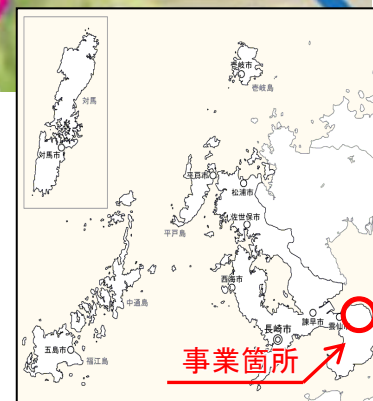
担当課：島原振興局 道路第二課
担当課長名：酒井 進一

事業名	一般国道251号（出平有明バイパス）		事業区分	一般国道	事業主体	長崎県
起終点	自：島原市出平町 至：島原市有明町			延長	3.4 km	
事業概要						
島原道路の一部として広域ネットワークを形成し、島原半島地域から高速ICまでの所要時間短縮や定時性確保による、農産業・観光振興の支援、搬送時間短縮による緊急医療体制の強化を目的として整備を行う。						
H25年度事業化	都市計画決定 なし		H28年度用地着手	H28年度工事着手		
全体事業費	160億	事業進捗率	77%	供用済延長	—	
計画交通量	12,700台/日（R22）					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.61 (残事業) 7.95	総費用 (残事業)/(事業全体) 31.9/157.4億円 〔事業費：31.2/156.6億円 維持管理費：0.8/0.8億円〕	総便益 (残事業)/(事業全体) 254.0/254.0億円 〔走行時間短縮便益：203.4/203.4億円 走行費用減少便益：36.2/36.2億円 交通事故減少便益：14.4/14.4億円〕	基準年 令和5年		
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施						
【全体事業】交通量変動：B/C=1.56~1.69（交通量 ±10%） 事業費変動：B/C=1.58~1.65（事業費 ±10%） 事業期間変動：B/C=1.54~1.61（事業期間±20%）						
【残事業】B/C=7.67~8.35（交通量 ±10%） B/C=7.19~8.90（事業費 ±10%） B/C=7.60~7.95（事業期間±20%）						
事業の効果等						
・高速道路I Cまでの所要時間短縮や定時性確保により、農業発展・観光振興の支援 ・3次緊急医療施設への搬送時間短縮による緊急医療体制の強化						
関係する地方公共団体等の意見						
「島原半島幹線道路網建設促進期成会」「一般国道57号等県南地域幹線道路整備促進期成会」より早期整備を要望されている						
事業再評価監視委員会の意見						
—						
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等						
「島原道路」の一部である長野～栗面工区が令和4年5月21日、森山拡幅（森山東～森山西）が令和5年11月12日に開通している。						
事業の進捗状況、残事業の内容等						
令和5年11月末までの事業進捗率は77%まで進捗しており、用地進捗率も97%の進捗である。今後、改良工事を推進し、令和8年度の完成を目指す。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等						
地質調査結果に基づく計画の変更および埋蔵文化財調査規模の拡大に伴い、工事進捗に遅れが生じている。令和5年度以降、用地買収・改良工事を推進していく。						
施設の構造や工法の変更等						
地質調査の結果による橋梁下部工基礎杭長変更、地盤改良工の追加等						
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	事業の必要性を考慮した場合、事業継続が妥当と判断される。					
概要図						
位置図		標準断面図		概要図		

令和5年度 第3回 長崎県公共事業評価監視委員会

再評価対象事業

道建-1	道路改築事業 一般国道251号 (出平有明バイパス)
事業主体	長崎県
再評価の理由	再評価後変更(事業費・工期)



1. 審議経過

審議経過	再評価の理由	工期		事業費 (億円)	B / C	備考
		着工	完了			
当初 (H24新規評価)	—	H25	H32	75.0	1.20	【工事概要】 延長3.4km 幅員7.0(12.0)m
第1回審議 (H29年度)	事業採択後 5年経過	H25	H32	75.0	1.20	【当初評価からの変更概要】 なし
第2回審議 (R1年度)	再評価後変更 (工期)	H25	R4	75.0	1.78	【前回評価からの変更概要】 ・用地取得遅延による工期延長
第3回審議 (R3年度)	再評価後変更 (事業費・工期)	H25	R6	130.0	1.37	【前回評価からの変更概要】 ・構造変更による事業費増 ・補償費の増 ・埋蔵文化財発掘調査の追加 ・構造変更、調査追加による工期延長
第4回審議 (R5年度)	再評価後変更 (事業費・工期)	H25	R8	160.0	1.61	【前回評価からの変更概要】 ・構造変更による事業費増 ・埋蔵文化財発掘調査の追加 ・構造変更、調査追加による工期延長

2. 目的

◆目的

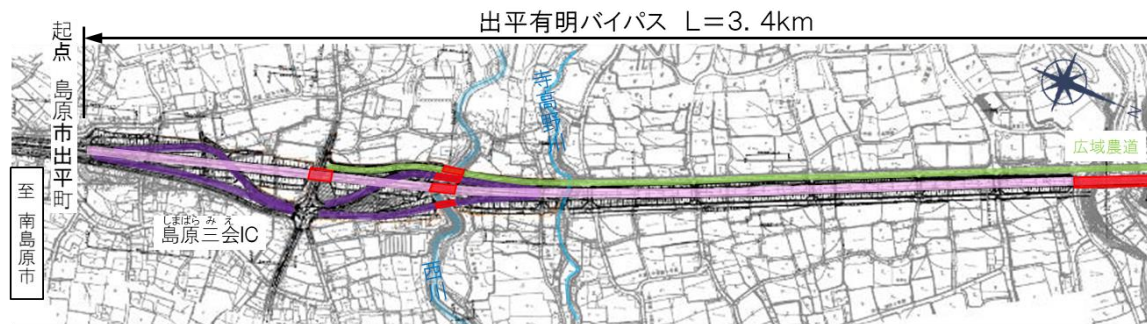
島原道路の一部として広域ネットワークを形成し、島原半島地域から高速ICまでの所要時間短縮や定時性確保による農産業・観光振興の支援、搬送時間短縮による救急医療体制の強化を目的としている。



2. 事業概要・これまでの経緯

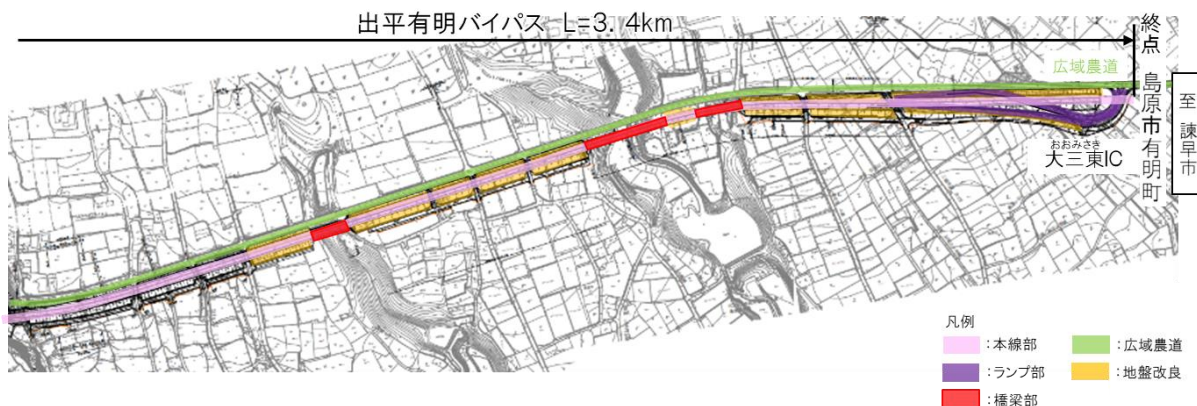
◆事業概要

計画延長等	L=3.4km
幅員	W=7.0(12.0)m
計画交通量 (R22)	12,700台/日

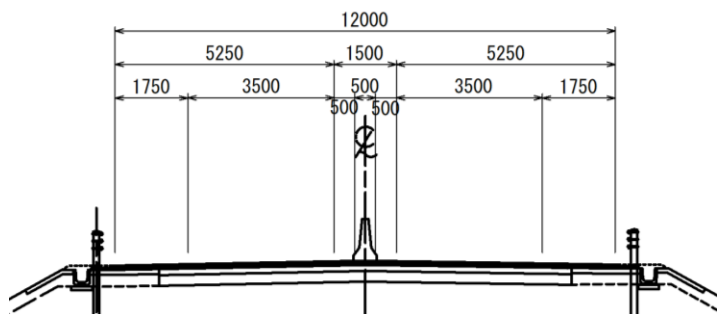


◆これまでの経緯

平成25年度	事業化
平成28年度	用地買収着手 工事着手
平成29年度	橋梁上部工着手



標準断面図



事業進捗率 77% (事業費ベース)
 用地進捗率 97% (面積ベース)
 【R5.11末現在】

3. 事業の効果・必要性(農産業・観光振興の支援、救急医療体制の強化)

- ・島原道路整備による所要時間短縮や定時性確保により、地域の基幹産業である農業の発展を支援。
- ・島原半島地域から高速ICまでの所要時間短縮により、観光交流人口の拡大。
- ・3次救急医療施設への搬送時間短縮による救急医療体制の強化

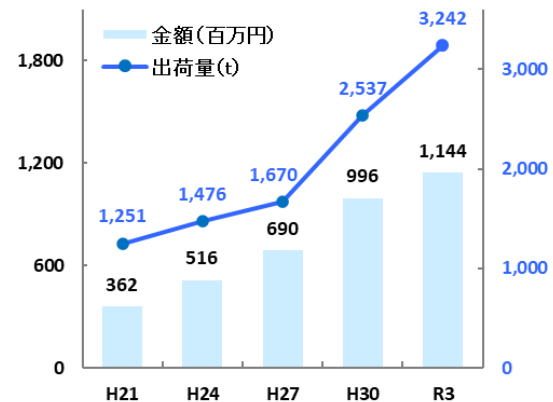


高規格道路「島原道路」L = 約50km

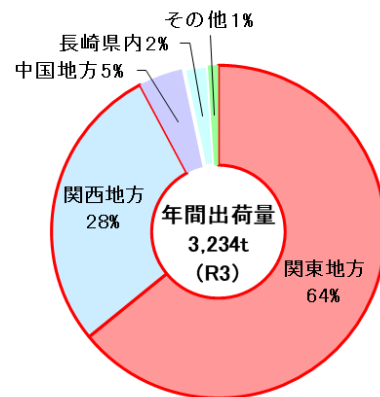
【時間短縮効果】

90分→40分

(諫早市～南島原市深江町: 約50km)
※ 整備前は国道57号、広域農道経由

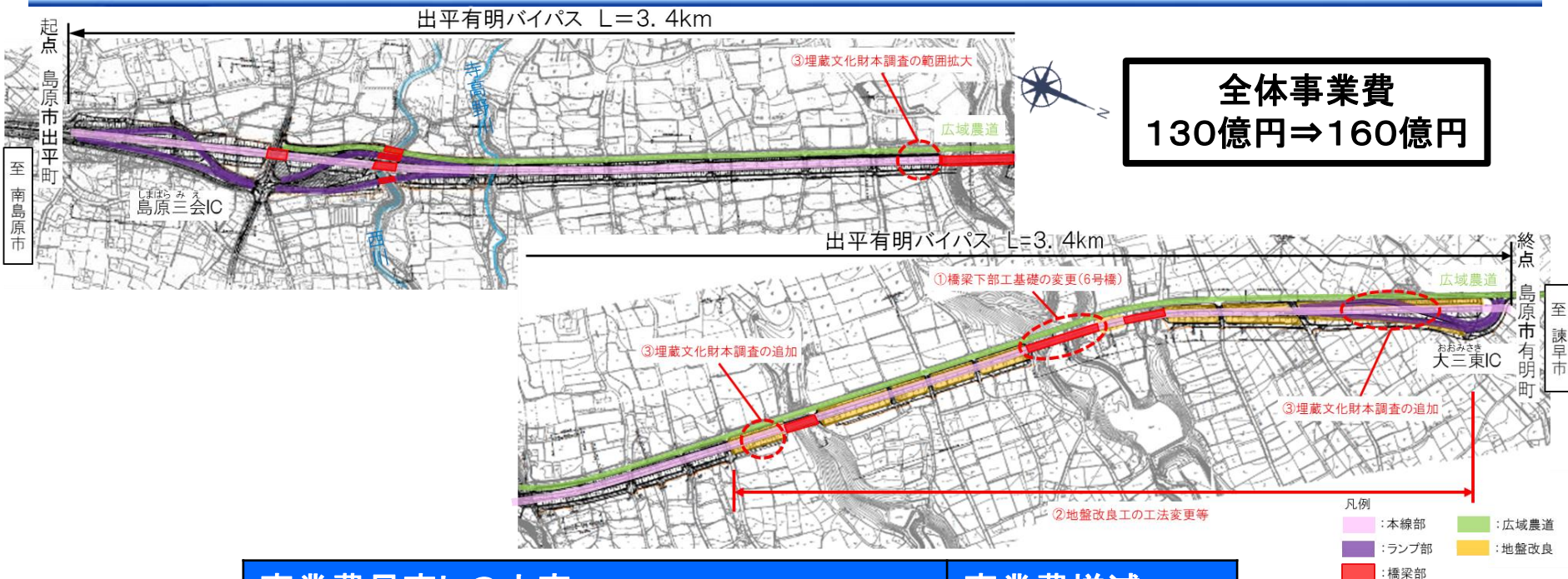


▲ ブロッコリー取引高の推移



▲ ブロッコリーの出荷先

5. 事業の進捗状況(事業費の見直し) 1/6



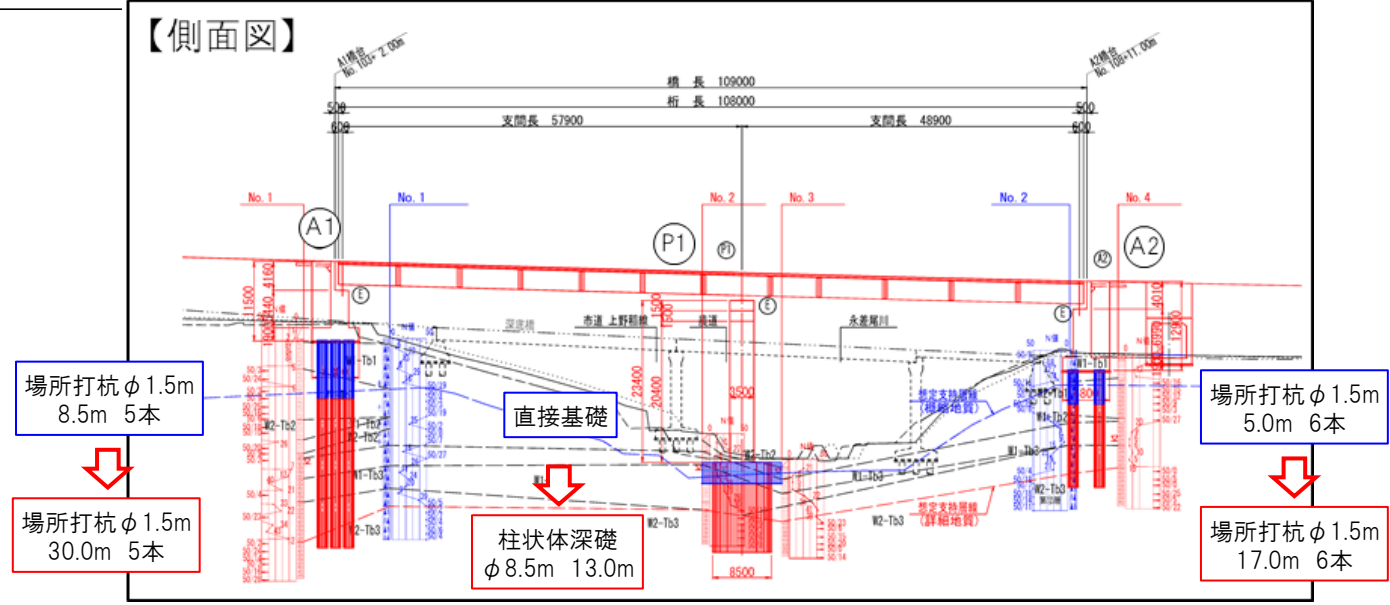
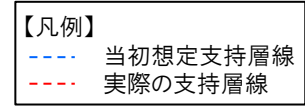
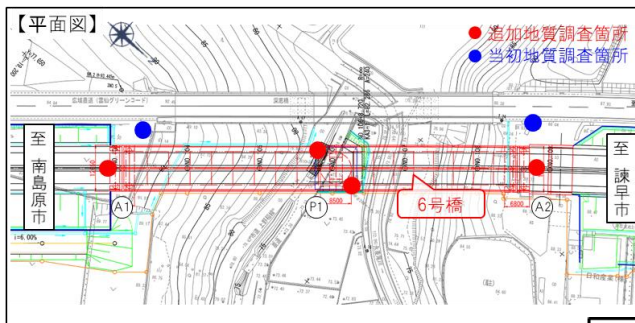
事業費見直しの内容	事業費増減
①橋梁下部工基礎形式の変更	+1.3億円
②地盤改良工の工法変更	+13.1億円
③埋蔵文化財本調査の追加	+7.3億円
④労務・資機材単価上昇	+8.4億円
⑤盛土材の流用によるコスト縮減	-0.1億円
計	+30.0億円

5. 事業の進捗状況(事業費の見直し) 2/6

① 橋梁下部工形式の変更(杭長の変更) 【+1.3億円】

○当初、用地取得前の地質調査結果をもとに想定した支持層(岩盤層)に対して、基礎工を計画していた。

○用地取得後に下部工位置で追加調査を実施した結果、想定より深い位置で支持層(岩盤層)が確認されたため杭長及び基礎形式を変更。



5. 事業の進捗状況(事業費の見直し) 3/6

② 地盤改良工の工法変更【+13.1億円】

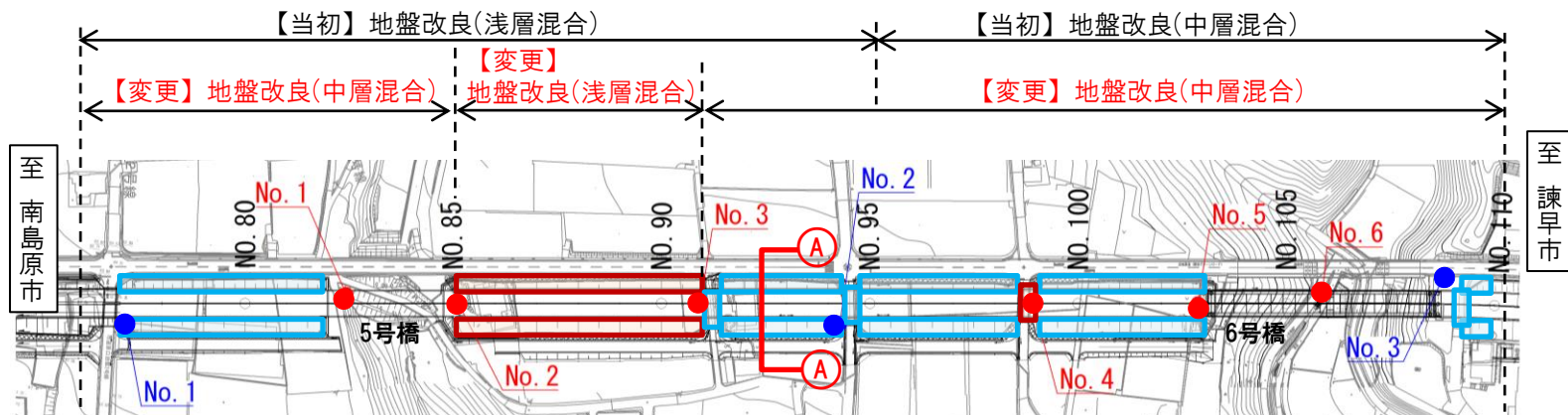
○当初、用地取得前の地質調査結果から、浅層混合・中層混合処理による地盤改良を想定していた。

○用地取得後の追加調査の結果、想定より深い位置まで軟弱地盤層が確認されたことから、地盤改良厚の変更が生じた。

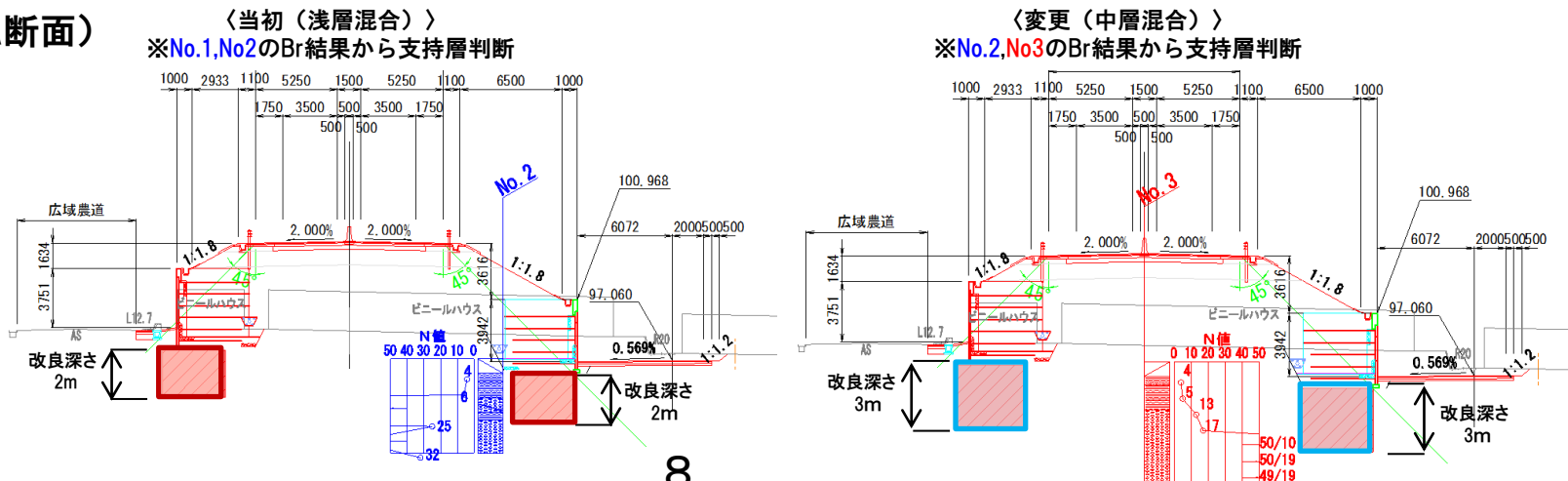
○現地試料による配合試験の結果、設計強度を満足しなかったことから、設計強度以上を確保するため、固化材添加量の見直しが生じた。

● 平面図

- 当初地質調査箇所
- 追加地質調査箇所
- 浅層混合処理
- 中層混合処理



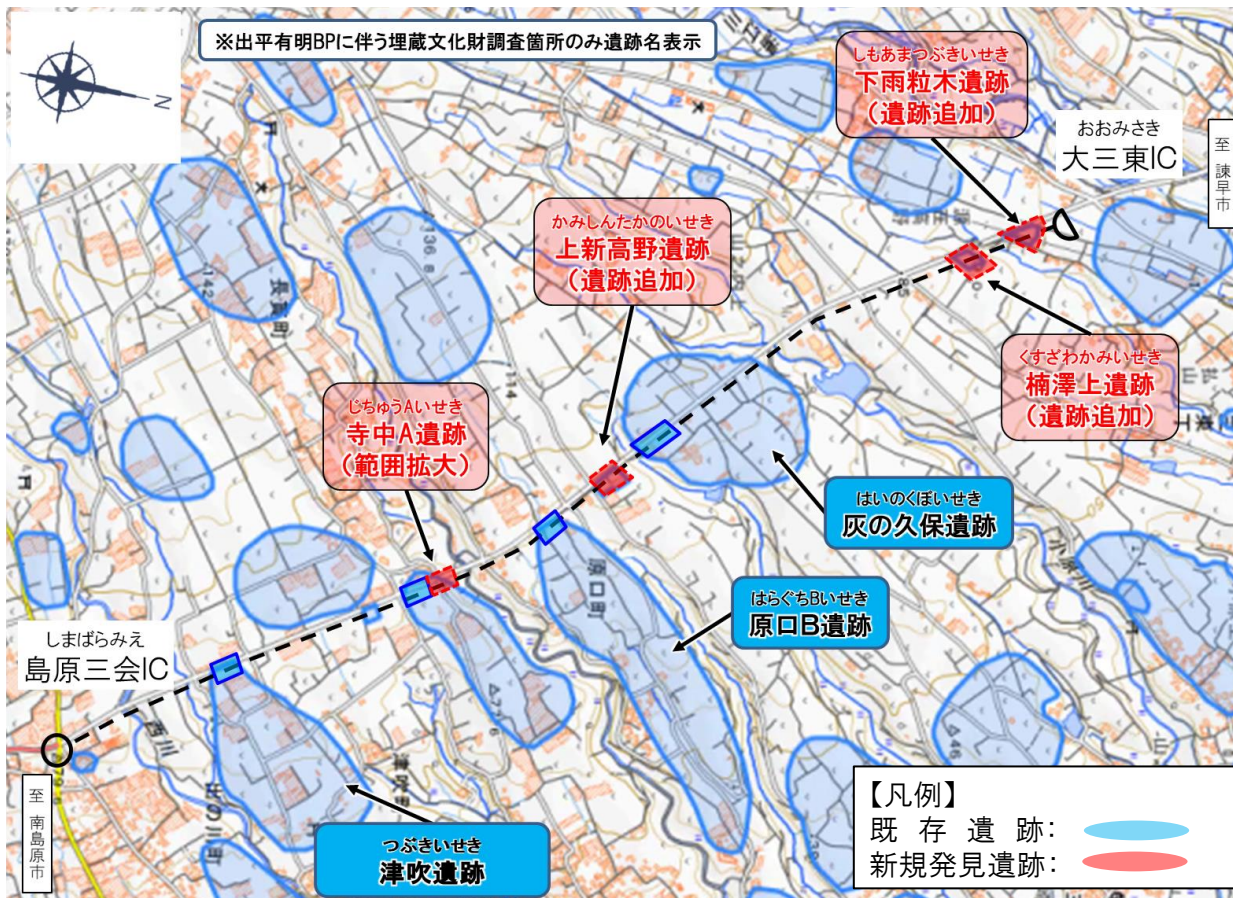
● 横断図 (A-A断面)



5. 事業の進捗状況(事業費の見直し) 4/6

③ 埋蔵文化財本調査の追加【+7.3億円】

○当初、遺跡地図に記載のある遺跡の調査を予定していたが、現地踏査の結果、遺跡地図に記載のない新たな遺跡が発見されたため本調査の追加が必要になった。(16,610㎡→25,230㎡)



▲寺中A遺跡出土遺物
(縄文土器(縄文時代早期))



▲下雨粒木遺跡出土遺物 (石鏃)
矢の先端に使用し狩猟に用いる

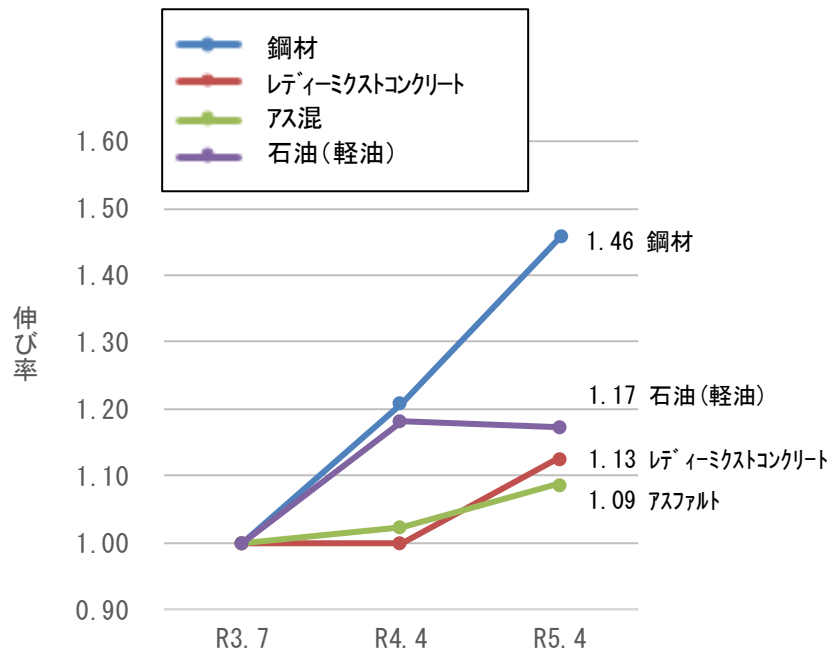
5. 事業の進捗状況(事業費の見直し) 5/6

④ 労務・資機材単価上昇【+8.4億円】

○資機材・労務単価の上昇によって、増額の必要性が生じた。

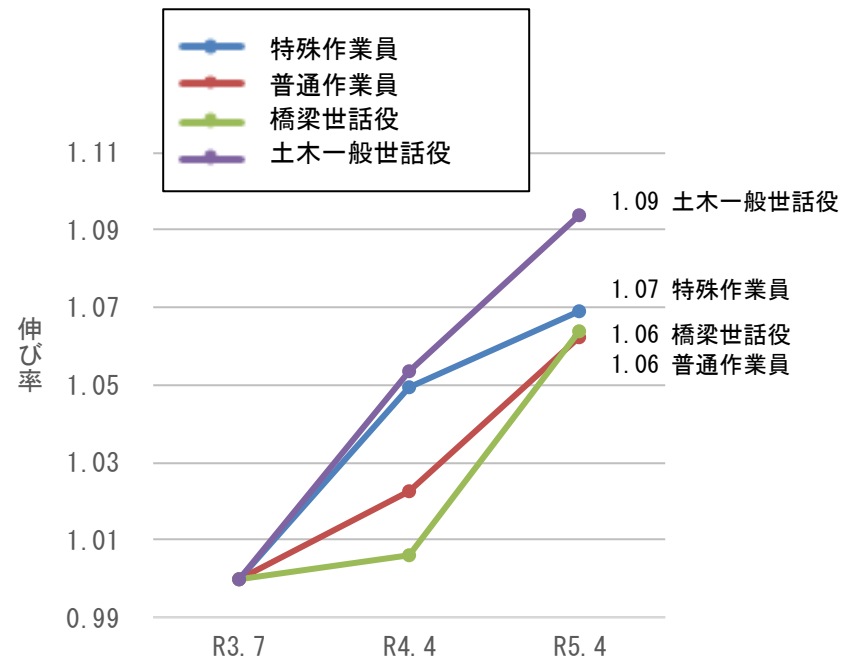
■ 建設資材単価の伸び率

主要建設資材単価伸び率(長崎県単価)
(令和3年7月基準)



■ 労務単価の伸び率

労務単価伸び率(長崎県単価)
(令和3年7月基準)

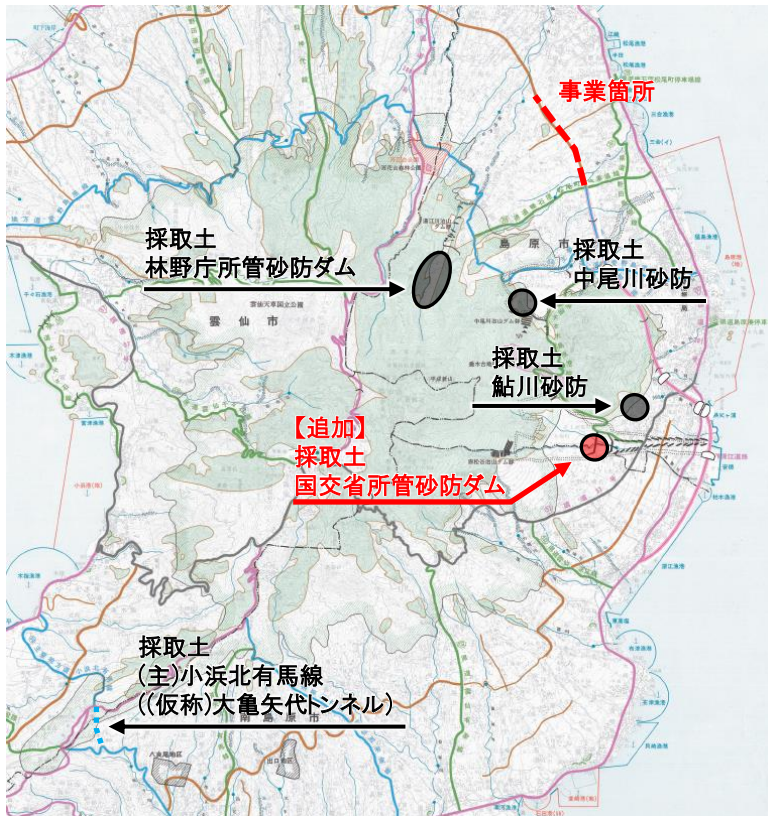


5. 事業の進捗状況(事業費の見直し) 6/6

⑤ 盛土材の流用によるコスト縮減【-0.1億円】

○近隣事業から、追加で土砂流用を受けることで、盛土材の購入費用が減。

○位置図



○国土交通省所管砂防事業(水無川砂防施設)からの土砂流用



【国土交通省HP抜粋】

5. 事業の進捗状況(事業期間の見直し)

【完了工期】R6(前回)⇒R8(今回)

○事業費の増(施工数量増)による施工期間の増

○埋蔵文化財発掘調査の追加

○用地取得遅延

前回

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
測量	■	■	■	■	■	■						
地質調査		■	■	■	■	■	■					
道路・橋梁設計			■	■	■	■	■	■				
用地補償交渉				■	■	■	■	■	■			
埋蔵文化財発掘調査						■	■	■	■	■	■	
本工事				■	■	■	■	■	■	■	■	■

今回

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
測量	■	■	■	■	■	■								
地質調査		■	■	■	■	■	■	■	■					
道路・橋梁設計			■	■	■	■	■	■	■					
用地補償交渉				■	■	■	■	■	■	■	■	■		
埋蔵文化財発掘調査						■	■	■	■	■	■	■	■	
本工事				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

6. 社会経済情勢等の変化

OR4.5.21 長野～栗面工区開通

OR5.11.12 森山拡幅(森山東～森山西)開通



7. 事業の投資効果

◆ 費用対効果(B/C)

項目	前回評価 (令和3年度)	今回評価 (令和5年度)
残事業	2.21 = 176.6億円 / 79.7億円	7.95 = 254.0億円 / 31.9億円
全事業	1.37 = 176.6億円 / 129.3億円	1.61 = 254.0億円 / 157.4億円

[費用]

- ・道路整備に要する事業費、道路維持管理に要する費用

[便益]

- ・走行時間短縮、走行経費減少、交通事故減少

[プラス要因]

- ・費用便益分析マニュアルの改訂
→原単位(価格)の増加

[マイナス要因]

- ・事業費の増
- ・事業期間の延長
- ・計画交通量の減

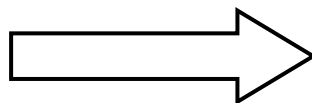
◆ B/Cでは計測できない効果

- ・所要時間短縮、定時性確保による農産業・観光振興の支援
- ・搬送時間短縮による救急医療体制の強化

8. 対応方針(原案)

- ◆ 島原道路の一部として広域ネットワークを形成し、農産業・観光振興の支援、搬送時間短縮による緊急医療体制の強化に寄与する。
- ◆ 事業進捗率は事業費ベースで約77%[123.5億円/160.0億円]であり、用地進捗率は面積ベースで97%となっている。(令和5年11月末現在)
- ◆ 地元自治体で構成する「島原半島幹線道路網建設促進期成会」「一般国道57号等県南地域幹線道路整備促進期成会」等により、島原半島全域発展のため早期整備を要望されている。
- ◆ 工事費増加に伴う期間の延長はあるものの、費用対効果が見込まれる。

対応方針
(原案)



継続